

糸魚川市駅北広場「キターレ」の指定管理者公募について

第3期の糸魚川市駅北広場「キターレ」の管理に関する指定管理者公募にあたり、第2期指定管理の目標と実績による評価を行った。

1 糸魚川市駅北広場「キターレ」 目標と実績による評価（別紙）

施設の設置目的を検証、評価し、改善点を第3期の募集要項に反映する。

評価は、令和4年度から令和7年度までの指定管理業務について、糸魚川市公の施設指定管理者選定委員会で用いる評価様式を参考とした。

2 募集方法

全国公募とする。なお、要件を満たす団体等で構成するグループ（共同企業体）による申請も可とする。

3 指定管理期間

令和9年4月1日から令和14年3月31日まで（5年間）

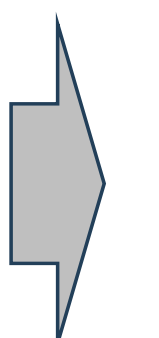
4 公募スケジュール(案)

日 程	項 目
令和8年8月下旬	募集情報公開（市ホームページ）
～10月上旬	募集期間※
10月23日	糸魚川市公の施設指定管理者選定委員会の開催
12月市議会	市議会定例会にて議案提出
令和9年1月中旬	基本協定締結
4月1日～	第3期 指定管理の開始

※募集説明は、要望があれば募集期間内において個別に対応する。

糸魚川市駅北広場「キターレ」 目標と実績による評価

施設目的：多様な利用及び活動を通じて、市民が集い、交流する場を創出するとともに、駅北大火の記憶を伝承すること。

【評価】						点数
判断基準	評価区分	目標達成率				
優良である	AAA	115%以上				
良好である	AA	105%以上	115%未満			
適正である	A	95%以上	105%未満			
課題がある	B	80%以上	95%未満			
改善を要する	C	80%未満				

1 令和4年度から令和7年度までの目標と実績による評価

項 目		令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				備 考
		目標	実績	評価	点数	目標	実績	評価	点数	目標	実績	評価	点数	目標	実績	評価	点数	
受付件数	ホール・屋外広場・エントランス （※予約した人のみカウント）	※7,000人	7,597人	AA	4.5	7,000人	4,665人	C	2.0	6,000人	5,787人	A	4.0	6,000人	6,260人	A	4.0	市民の交流 市民活動の促進
	厨房 （テナント）	※10店	11店	AA	4.5	10店	8店	B	3.0	10店	10店	A	4.0	10店	9店	B	3.0	市民の交流 市民活動の促進
飲食	利用者数 （購入した人）	10,000人	6,767人	C	2.0	5,000人	8,474人	AAA	5.0	6,000人	14,906人	AAA	5.0	10,000人	8,411人	B	3.0	市民の交流 市民活動の促進
	営業日数 （1時間も1日としてカウント）	150日	275日	AAA	5.0	150日	302日	AAA	5.0	150日	302日	AAA	5.0	150日	276日	AAA	5.0	市民の交流 市民活動の促進
企画事業		※1,000人	1,719人	AAA	5.0	1,000人	1,573人	AAA	5.0	1,000人	2,075人	AAA	5.0	1,000人	1,012人	A	4.0	市民の交流 市民活動の促進 駅北大火の記憶を伝承
視察の受入		※500人	596人	AAA	5.0	500人	885人	AAA	5.0	500人	815人	AAA	5.0	500人	514人	A	4.0	駅北大火の記憶を伝承
合計利用者数		18,500人	16,679人	B	3.0	13,500人	15,597人	AAA	5.0	13,500人	23,583人	AAA	5.0	17,500人	16,197人	B	3.0	
評価点数（35点満点）		29.0				30.0				33.0				26.0				
評点割合（評価点数÷35点満点）		0.83				0.86				0.94				0.74				

※令和4年度は、目標値を定めていなかったため、令和5年度の目標値を参考に設定した。

2 利用者サービスの向上や利用者数増の取組

実施状況	点検項目	実施状況
	・施設の設定目的を達成するための具体的な取組があったか。	・具体的な取組として、健康体操、こどもラボ、「夜回り隊」の子どもたち等と一緒に被災エリアを歩く等、取組を実施した。
	・利用促進に向けた取組に努めているか。 実現可能な利用促進策を実施しているか。	・健康体操で、スタッフはユニフォームを着用することもあり、活動する方を鼓舞して、利用促進に向けて取り組んでいる。 ・大火の視察では、令和8年度は、大火10年目でもあるので、過去の視察来訪者へ10年PRチラシを配布して再度ご案内した。 ・行事内容はSNSで積極的にPRし、厨房利用者の料理をSNSでPRして施設来館者の増加を狙った。 ・新しいスタッフに、大火の展示、視察研修についての導入研修を行っている。
	・教室、イベント、自主事業などの取組状況	・毎週火曜日に健康体操を10～20人で主に大町区の方々と実施し、回数は200回を超えた。 ・こどもラボでは、「まちなかハロウィン」や「ミライに輝く金の石たち」を実施した。 ・大火の視察は、視察の希望日時を確認して日程調整し、受付する。事前質問をいただき、より理解を深めてもらう工夫をしている。 ・「夜回り隊」の近所の小学生と被災エリアを巡り、大火について学習した。また別日に、夜回り隊以外の小学生と一緒に、被災範囲を歩き大火について学習した。
	・利用者数増加のためのPR活動は実施しているか。	・施設の予約状況や活動状況については、インターネットやSNSで告知した。視察申込みについては、旅行会社を中心にリピートし、多くの申込みに繋がるように「大火から10年、復興の歩み」チラシを案内した。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	・令和6年度に施設利用者アンケート及び視察アンケートを実施し、おおむね満足の評価を得た。視察利用者にもアンケートを実施し、視察料金、内容の満足度、話し手のわかりやすさなどを実施し、おおむね満足の評価を得た。
	・利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	・利用者から「まちなか駐車場がわかりづらい」、「入り口がわかりづらい」などの意見が寄せられるので、掲示物・看板にて案内を強化している。 また、市と協議し、施設環境の向上に努めている。

3 評価等（評価票による）

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価
	A（適正である）		A（適正である）
	評価		
	評価理由	上記、「2 利用者サービスの向上や利用者数増の取組」の実施状況によります。	- 毎年1万5千人以上の利用者が、目的をもってキターレを訪れることは、運営の成果として評価する。 - 視察対応スタッフは、事前にシフトを調整して、施設運営できる状態を保っている。 - 健康体操は、一体感が出るように工夫しているところが評価できる。また、福祉事務所と連携し、市の課題解決に向けた一体的な取組を実施してるところ、累計200回を超える回数を実施しており、「市民が集い交流する場」における活動の促進に寄与していることは評価できる。
改善事項			
	インターネットやSNS等を活用し、健康体操を周知しているが、地元の方や歩いてこれる方が主であり、より地元を意識した周知が課題か。		- 施設の事業に応じて利用者の属性が異なるので、事業別に応じた利用者への効果的な周知を図られたい。 - 施設をぶらっと訪れた人が、大火記憶の展示を見て興味を示したときに、より興味を持ってもらえるようにスタッフから声を掛けたり、視察へ誘導するなどの仕掛けなどで、施設の認知度向上につなげたい。 - 市民が集う、集いやすい環境設定が弱い、更なる利用促進を図られたい。